

平成 26 年度第 2 回普及に移す農業技術・技術情報（技術項目及び要約のみ）

番号	技術項目 要 約	担当場・部
1	<p>コムギ縞萎縮病に罹病した「シラネコムギ」に対する越冬後と茎立期の追肥が及ぼす生育・収量への影響</p> <p>[要約] コムギ縞萎縮病に罹病した「シラネコムギ」に対して、越冬後の窒素追肥に加え茎立期にも追肥することで、生育が回復に向かい、減収の軽減が図れる。</p>	農試作物部・環境部
2	<p>難防除雑草シズイに有効な水稲用初中期除草剤</p> <p>[要約] 水稲用初中期除草剤 4 剤を、難防除雑草シズイの草丈 3 cm までに処理することで効果的な防除が可能である。</p>	農試作物部
3	<p>ソバ丸抜きとそば粉の緑色保持のための保存方法</p> <p>[要約] ソバの丸抜きとそば粉は、保存温度が高いほど、また保存期間が長くなるほど緑色が茶褐色に退色するが、-18℃以下で保存すると緑色の退色を 12 ヶ月間防ぐことが出来る。</p>	野花試畑作育種部
4	<p>高温強風により発生した籾の褐変及び白穂が、水稲の登熟歩合、品質に及ぼす影響</p> <p>[要約] 平成 26 年台風 11 号の通過による、県内各地の高温強風により発生した褐変籾や白穂は、発生程度が大きくなるほど登熟歩合が低下し、また品質では茶米率の増加と、特に白穂で整粒歩合が大きく低下した。褐変籾の発芽勢、発芽率に影響はなかった。</p>	農業技術課、農試作物部
5	<p>りんご半わい性台木 JM2 台木樹の 11 年生までの樹体生育と収量</p> <p>[要約] りんご「シナノスイート」、「シナノゴールド」、「秋映」に半わい性台木 JM2 を用いると、マルバカイドウ台木樹と比べ樹が小型化し、幹断面積は 56～79%に抑えられた。また、1 樹当たりの累積収量は、マルバカイドウ台木樹の 63～76%であった。</p>	果樹試栽培部
6	<p>りんごわい性台木樹における果実の日焼け発生と果実表面温度の関係</p> <p>[要約] 果実表面最高温度は日最高気温と正の相関関係があり、果実表面最高温度が 51.1℃に達するとき、樹上で直射日光があたるように固定した果実の約半数で、日焼けが生じる可能性がある。また、9 年生「つがる」M.9 台木樹では、日最高気温 32℃を超える日は、果実表面最高温度 51℃を超える果実が生じる可能性がある。</p>	果樹試栽培部
7	<p>りんご「シナノスイート」、「秋映」、「シナノゴールド」及び「ふじ」の花芽形成期</p> <p>[要約] りんご「シナノスイート」、「秋映」、「シナノゴールド」及び「ふじ」は、新梢伸長が停止した一年枝では、7 月中旬より茎頂内部で形態の変化があり、11 月中旬までに中心花と側花が形成される。</p>	果樹試栽培部

8	<p>着色期の除袋と笠のかけ替えがぶどう「クイーンニーナ」の着色に及ぼす影響</p> <p>[要約] ぶどう「クイーンニーナ」において、8月下旬（満開70日後頃）に除袋して透明笠にかけ替えることにより、白色果実袋と乳白色笠をかけたままの果房より着色が促進される。</p>	果樹試育種部
9	<p>ぶどう「クイーンニーナ」の着粒数、着粒密度と果実品質の関係</p> <p>[要約] ぶどう「クイーンニーナ」は、着粒数30粒程度では着色が安定し、裂果発生は少ないが、着粒数35～40粒程度では着色不良果粒の混入と裂果発生が多くなる。着粒密度の違いによる果実品質への影響はみられない。</p>	果樹試育種部
10	<p>りんご早生品種「リンゴ長果25」の育成（県内限定）</p>	果樹試育種部
11	<p>すもも品種「スモモ長果1」の育成（県内限定）</p>	果樹試育種部
12	<p>プルーン「オータムキュート」の裂果特性（県内限定）</p>	果樹試育種部
13	<p>ラズベリー4品種の収量と果実品質</p> <p>[要約] ラズベリー「ヒンボートップ®（品種名：RAFZAQU）」、「オータムブリス」は二季成り性品種で、収量は1,000kg/10a以上であり、糖度10%程度の果実が収穫できる。「サマーフェスティバル」は収量が多いものの小果で品質が不良である。「スキーナトップ」は一季成り性品種で収量が少ない。</p>	果樹試育種部
14	<p>高品質な「市田柿」原料柿を生産するための着果管理</p> <p>[要約] 摘果時の葉果比を10～15とし、長野県果樹指導指針に記載の基準により行うことで、「市田柿」の干し柿加工に適した、1果重100～120g、可溶性固形成分（糖度）18度以上の高品質な果実を生産できた。</p>	南信試栽培部
15	<p>日本なし「南水」の樹体ジョイント仕立て用の苗木育成において、ジベレリン塗布剤処理により苗木生育が促進される</p> <p>[要約] 「南水」の樹体ジョイント仕立て用の大苗育苗では、ジベレリン塗布剤を新梢生育初期（4月～5月）に新梢基部へ1回塗布し、さらに新梢伸長期（6月～8月）に頂芽基部へ2回塗布することにより新梢伸長が促進される。</p>	南信試栽培部
16	<p>日本なし「南水」の樹体ジョイント仕立てにおいて、ジベレリン塗布剤処理により側枝養成が促進される</p> <p>[要約] 「南水」樹体ジョイント仕立ての側枝育成において、側枝養成1年目は新梢基部へ、側枝養成2年目以降は側枝先端の新梢基部へ、満開予定10日前～満開40日後にジベレリン塗布剤を処理することにより、新梢の生育が揃い、新梢伸長が促進される。</p>	南信試栽培部

17	<p>ブロッコリーのブラウンビーズ（死花）発生と気温の関係</p> <p>[要約] ブロッコリーのブラウンビーズ（死花）発生と気温の間には密接な関係があり、ブロッコリー品種「ピクセル」および「おはよう」では、「花芽分化開始日」から「出蕾日」までの積算温度がブラウンビーズ発生と相関が高い。</p>	<p>野花試野菜部・佐久支場</p>
18	<p>アスパラガスの露地長期どり栽培における品種特性</p> <p>[要約] アスパラガス品種の露地長期どり栽培における特性を明らかにした。供試した8品種の中では、「ゼンユウヨーデル」と「ゼンユウガリバー」が、収量性や若茎穂先の品質等の点で総合的に優れており、本県での露地長期どり栽培に適している。</p>	<p>野花試野菜部</p>
19	<p>トマト不織布ポット栽培における側枝利用2本仕立て導入の目安と給液管理方法</p> <p>[要約] トマト不織布ポット栽培で、側枝利用2本仕立てを導入した場合の損益分岐点は収穫日数80日程度となり、収穫日数120日のとき収益は1本仕立てより15万円/10a程度向上する。給液管理については廃液率20%前後を目安とし、株あたり1回の給液量は生育ステージに応じて150～200mlの範囲とする。</p>	<p>野花試野菜部</p>
20	<p>夏秋どりいちご栽培におけるクラウン部冷却は複数の品種に対して増収効果が認められる（県内限定）</p>	<p>野花試野菜部、南信試栽培部、農業技術課</p>
21	<p>レタスのチップバーン発生に対する品種間差異</p> <p>[要約] レタスのチップバーン発生程度には品種間差異が認められ、サリナス系品種の発生度が低く、マック系品種で高い傾向が認められた。</p>	<p>野花試育種部</p>
22	<p>夏はくさい転換品目としてセルリー、たまねぎ、ニンジン、スナップエンドウ、サヤインゲンの高うね全面マルチ栽培が可能である</p> <p>[要約] 寒地においてはくさいの転換品目として、セルリー、春播きたまねぎ、ニンジン、スナップエンドウ、サヤインゲン（つるなし種）の高うね全面マルチ栽培は可能である。</p>	<p>野花試佐久支場、農業技術課</p>
23	<p>シクラメンの窒素施用量が品質と日持ちに及ぼす影響</p> <p>[要約] 9～10月の窒素施用量が少ないと出荷時の葉色が薄くなり品質が低下する。一方、窒素施用量が多いと観賞時に低照度環境に置かれた場合の日持ち性が劣る。4号鉢栽培の出荷前約40日間の施肥管理は置き肥の場合、窒素施用量で200mg/鉢、底面給液の場合は窒素濃度で50ppm程度を基準とする。</p>	<p>野花試花き部・環境部</p>

24	<p>りんどう定植1年目の越冬芽への覆土処理効果</p> <p>[要約] セル成形苗定植1年目のりんどう越冬芽へ覆土処理すると、翌年の生長量および切り花品質向上に効果が認められる。</p>	野花試花き部
25	<p>アルストロメリア葉焼け症状および葉先焼け症状の発生原因</p> <p>[要約] アルストロメリアの葉焼け症状や葉先焼け症状は多肥栽培および土壌のpHが低い場合に発生が助長される。</p>	野花試花き部・環境部
26	<p>冷気と細霧の送風を併用したタイストール乳牛舎の暑熱対策システムの効果</p> <p>[要約] トンネル換気下のタイストール乳牛舎における冷気と細霧の送風を併用した暑熱対策システムは、牛床を濡らさずに暑熱時の搾乳牛の体温上昇と乾物摂取量及び乳量の低下を抑制できる。また、冷気送風装置と細霧送風装置を混成利用（細霧：冷気と細霧＝3：1）し、冷気送風装置の冷却水に使用した水道水を回収して飲水利用することでコストを低減できる。</p>	畜試酪農肉用牛部
27	<p>暑熱時における搾乳牛に夜間給餌をおこなうと乳量の増加が期待できる</p> <p>[要約] トンネル換気下のタイストール乳牛舎において、暑熱時の搾乳牛に夜間給餌をおこなうと乾物摂取量が増加し、乳量の増加が期待できる。</p>	畜試酪農肉用牛部
28	<p>県内検定牛群における長命連産性に優れた牛の初産時の泌乳形質と繁殖形質の特徴</p> <p>[要約] 長命連産性に優れた牛は劣る牛と比較して、初産時のピーク乳量と305日乳量が低く、空胎日数が短い。また、初産時の305日乳量が中程度（7,600kg以上8,900kg未満）の牛は高泌乳（8,900kg以上）の牛と比較して初産時の泌乳持続性が低く、空胎日数が短く、生涯の分娩回数が多く、長命連産性に優れている。</p>	畜試酪農肉用牛部
29	<p>粉碎した飼料用玄米を哺育期の乳用雌子牛に利用した場合、ホルスタイン種の標準的な初期発育を確保できる</p> <p>[要約] 粉碎した飼料用玄米を乳用雌子牛に哺育・育成用飼料の25%または50%代替して給与した場合、ともにホルスタイン種の標準的な初期発育を確保できる。</p>	畜試酪農肉用牛部
30	<p>デンマークからの輸入豚精液を用いて生産したランドレース種雄豚の発育と同腹雌豚の初産分娩成績は良好である</p> <p>[要約] デンマークからの輸入豚精液を用いて生産したランドレース種雄豚は発育良好で、同腹雌豚2頭の初産分娩成績も平均産子数14頭、平均離乳頭数12頭と良好であり精液の活用による繁殖能力の向上が期待できる。</p>	畜試養豚養鶏部

31	<p>持続性エストロジェン製剤と PGF2α 製剤を利用した未経産豚の発情調整技術</p> <p>[要約] 授精希望日の 30～38 日前に発情となった未経産豚に持続性エストロジェン製剤と PGF2α 製剤を用いることで発情を希望日に合わせることが可能である。</p>	畜試養豚養鶏部
32	<p>モアコンディショナを活用したイタリアンライグラスの省力的な高品質ロールベールサイレージ調製法</p> <p>[要約] イタリアンライグラスをモアコンディショナで刈取れば、慣行ロールベール体系では反転作業 1 回で、フォーレージハーベスタ・細断型ロールベール体系では反転・集草作業を行わずに、高品質なロールベールサイレージが調製できる。</p>	畜試飼料環境部・酪農肉用牛部
33	<p>稲発酵粗飼料に適する飼料用水稲品種の特性</p> <p>[要約] 「たちすずか」、「クサノホシ」、「たちあやか」は、稲発酵粗飼料（稲 WCS）として全重が多く、県内における WCS 用品種としての適性が高い。</p>	畜試飼料環境部
34	<p>フェストロリウム「東北 1 号」の収量および生育特性</p> <p>[要約] フェストロリウム「東北 1 号」は従来品種よりも多収であり、生育特性に優れる。利用 1 年目の収量が多いが、利用 2 年目以降の収量が大きく減少するため、混播栽培を構成する草種として利用する。</p>	畜試飼料環境部
35	<p>豚ふんオガ屑堆肥および化学窒素肥料の連用がりんご「ふじ」M.9 ｶﾞノ台木樹の生育、収量および果実品質に与える影響</p> <p>[要約] りんご「ふじ」M.9 ｶﾞノ台木樹に対し、豚ふんオガ屑堆肥 2 および 5 t/10a を 14 年間連用すると、窒素として 10kg/10a の化学肥料を 14 年間連用した場合に比べ、収量増はわずかで、着色良果率は大きく低下する。</p>	果樹試環境部
36	<p>豚ふんオガ屑堆肥の 14 年間の連用がりんごわい化栽培園土壌の理化学性に与える影響</p> <p>[要約] 堆肥の連年施用により、土壌表層（0～10cm）が膨軟になり物理性は大きく改善されるが、その範囲は表層に限定される。しかし過剰に施用すると窒素、リン酸およびカリ等の養分富化や、養分バランスの悪化を招くとともに、土壌からの窒素発現量が増加する。</p>	果樹試環境部
37	<p>豚ふんオガ屑堆肥および化学窒素肥料の連用がりんご「ふじ」M.9 ｶﾞノ台木樹の窒素収支に与える影響</p> <p>[要約] 豚ふんオガ屑堆肥 2～5 t/10a および約 10kg-N/10a の化学窒素肥料を連用したりんご「ふじ」M.9 ｶﾞノ台木樹の年間窒素持ち出し量は、果実で 1.2～1.8kg/10a、せん定枝で 0.9～1.3kg/10a、土壌への年間窒素蓄積量は 1.0～34.6kg/10a だった。</p>	果樹試環境部

38	<p>越冬ライムギのすき込みによる初夏どりレタスの窒素減肥栽培</p> <p>[要約] 越冬ライムギを草丈 30cm 位ですき込むことにより、5 月定植レタスの窒素を 30～50%程度削減することが可能である。</p>	野花試環境部
39	<p>カリの過剰施用はレタスチップバーンの発生を助長する</p> <p>[要約] カリの過剰施用はレタス中のカリ含有率を高めるとともに石灰含有率を低下させ、レタスチップバーンの発生を助長するため、カリの適正施肥に努める。</p>	野花試環境部・野菜部
40	<p>ヒシ堆肥は窒素肥効率を 20%としてレタス、はくさいの栽培に利用できる</p> <p>[要約] レタス、はくさいの栽培において、化学肥料の一部をヒシ堆肥で代替できる。その場合、ヒシ堆肥の窒素肥効率は 20%とする。</p>	野花試環境部、農試環境部、農業技術課
41	<p>レタスべと病に対する品種間差</p> <p>[要約] レタスべと病に対する感受性には品種間差が認められる。感受性が低い品種の中では、「バレイ (UC-022)」、「ランディ (UC-023)」、「スイッチ (KAY-004)」および「ルシナ 66」がある。</p>	野花試佐久支場
42	<p>カキ円星落葉病防除に用いる主要殺菌剤の効果特性</p> <p>[要約] カキ円星落葉病に対してはスコア顆粒水和剤、ブローダ水和剤に加え、オーソサイド水和剤、ジマンダイセン水和剤にも病斑形成阻止効果があり、いずれも感染 25 日後の散布でも高い防除効果を示した。</p>	南信試栽培部
43	<p>ホソハリカメムシの斑点米の特徴と薬剤感受性</p> <p>[要約] ホソハリカメムシは加害能力が比較的高く、斑点米による品質低下に加えて減収要因になる可能性がある。本種に対して MEP、ジノテフラン、クロチアニジン、エチプロール、エトフェンプロックスは、いずれも殺虫活性が高い。</p>	農試環境部、農業技術課
44	<p>コナガのジアミド系等の各種殺虫剤に対する薬剤感受性</p> <p>[要約] 東信および中信地区の計 7カ所で採取したコナガのジアミド系等の各種殺虫剤に対する薬剤感受性を検定したところ、ジアミド系殺虫剤についてはすべての個体群で薬剤感受性の低下が認められた。また、他の系統の殺虫剤に対する感受性は大差が認められた。</p>	野花試環境部・佐久支場

45	ポリエチレン製ネットと通電線を組み合わせた電気柵はニホンザルの侵入を防止できる	農試企画経営部
	[要約] 高さ1.5mのポリエチレン製ネットと通電線6段を組み合わせた電気柵を設置することで、ニホンザルの農地への侵入を防ぐことができる。	

※普及に移す農業技術のうち技術情報は、試験や調査で得た新たな知見で、生産技術に直接影響しないものの、情報として参考になる事項です。

毎年、10月と2月に普及技術検討会で審査され、公表されます。技術情報の詳細については、お近くの農業改良普及センターへお問い合わせください。

農業改良普及センター一覧

普及センター名	所在地	電話番号
佐久農業改良普及センター	佐久市大字跡部 65-1 佐久合同庁舎内	0267-63-3146
上小農業改良普及センター	上田市材木町 1-2-6 上田合同庁舎内	0268-25-7157
諏訪農業改良普及センター	諏訪市川上 1-1644-10 諏訪合同庁舎内	0266-57-2932
上伊那農業改良普及センター	伊那市大字伊那 3497 伊那合同庁舎内	0265-76-6842
下伊那農業改良普及センター	飯田市追手町 2-678 飯田合同庁舎内	0265-53-0436
木曾農業改良普及センター	木曾郡木曾町福島 2757-1 木曾合同庁舎内	0264-25-2230
松本農業改良普及センター	松本市大字島立 1020 松本合同庁舎内	0263-40-1947
北安曇農業改良普及センター	大町市大字大町 1058-2 大町合同庁舎内	0261-23-6543
長野農業改良普及センター	長野市大字南長野南県町 686-1 長野合同庁舎内	026-234-9534
北信農業改良普及センター	中野市大字壁田 955 北信合同庁舎内	0269-23-0221